



# 広島中央トピックス

## ぶちうまいお米 第4回コンテストを開催



東広島市やJA、サタケなどは11月19日、道の駅「湖畔の里福富」で第4回「ぶちうまいお米コンテストin東広島」の決勝審査会を開きました。55点の応募から、同市黒瀬町の沖クニ子さんが最優秀賞に輝きました。

同大会は、市内の稲作農家や集落営農法人の生産意欲の高揚と食味向上によるブランド化、消費者へのPRを目的に2021年から開いています。

予備審査では機器で成分や品質を分析。決勝審査では高垣広徳市長やJAの田中義彦組合長ら7人が上位5点を実食し、最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞



▲コンテストの入賞者ら

### 受賞者の皆さま おめでとうございます

**【最優秀賞】**

沖 クニ子さん（黒瀬町）あきさかり

**【優秀賞】**

溝西 優さん（西条町）恋の予感

**【審査員特別賞】**

西本二三夫さん（豊栄町）コシヒカリ

橋本 明さん（志和町）コシヒカリ

酒井 登さん（志和町）あきろまん



▲最優秀の賞状を受け取る沖さん

を決定しました。最優秀賞の沖さんは亡くなった夫の後を継ぎ、昨年から米作りを始めました。「JAの水稲講習会に毎回参加して、指導や栽培暦の通りに栽培した無我夢中の一年だった。受賞を励みに、できる限り米作りを続けたい」と喜びを語りました。

田中組合長は「コンテストの継続で市内外の消費者においしさを知ってもらい、ブランド化を進めたい。関係機関との連携強化で、生産維持にも取り組む」と力を込めました。

## 元氣市でサツマイモと 白ネギを販売 三原市立大和小学校



三原市立大和小学校3年生23人は12月6日、産直市「とれたて元氣市」となりの農家店で児童が育てたサツマイモと大和町産の白ネギを販売しました。農産物をアピールすることで大和町を元気にする狙いです。

JA大和アグリセンターが協力。白ネギ約100袋とサツマイモ100袋をそろえ、児童が声を出して販売し、消費者と交流しました。

児童は学校の畑にサツマイモ



▲サツマイモと白ネギを販売する児童

## 縁起物切り花ハボタン良質



広島中央地域管内で、切り花ハボタンの出荷が順調に進みました。猛暑の影響で生育が心配されましたが、かん水を徹底した



▲切り花ハボタンの最終調整をする森本さん

ことで生育は上々。県内市場や東広島市のJA産直市などに出荷しました。

黒瀬町では、20年ほど前にJAが生産者に呼び掛け、生産が始まりました。今年は7戸が露地で栽培。管内で最も生産量が多い森本敏充さんは「小町」を中心に5aで1万9000本を生産しました。森本さんは「ハボタンでお正月の気分を楽しんでほしい」と話しました。

JAは12月21日に産直市「となりの農家黒瀬店」、22日に「とれたて元氣市」となりの農家店でハボタン祭りを開き、生産者が対面で販売しました。



# 水稲

## 「水稲栽培ごよみ」用語解説

今回は水稲ごよみの用語を解説しますので参考にしてください。

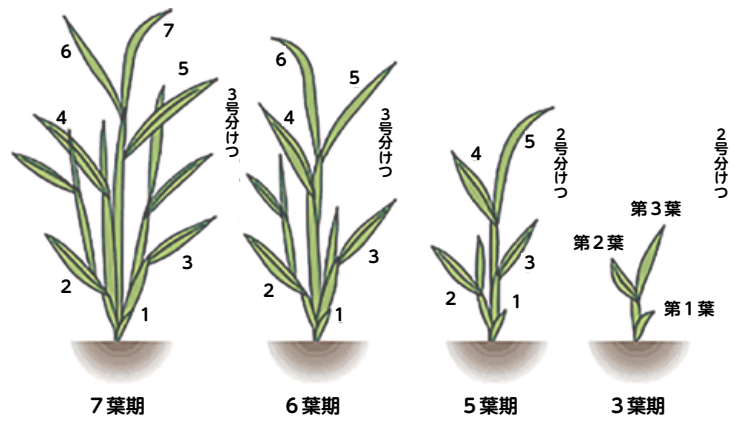
### ◆生育ステージと水管理

#### 【活着】

移植(田植え)時に切断された根から新たに根が伸長し、根付くことを指します。通常、活着までには移植後7日程度かかるため、その間は深水管理を行ない、保温に努めます。

#### 【分けつ】

株元から複数の茎が新たに発生する現象です。分けつにより茎数が増えることで1株当たりの穂数が増加し、最終的には収穫量の増加につながります。活着後分けつにより茎数



が確保できるまでは浅水管理にします。

#### 【溝切り】

田に溝を切り、排水口につなげておく作業です。溝を切っておくとスムーズに排水が行なえます。

溝切りの効果は次の通りです。

- ①排水・中干しがスムーズに行なえる
- ②土中の有害ガス(硫化水素・メタンガスなど)を抜くことができる
- ③干ばつの時は逆に溝に水を溜めることで対策できる など

特に排水が悪くぬかるみの深い田は行なうようにしましょう。

#### 【最高分けつ期】

茎数が最高になる時期を言います。通常移植後45〜50日経過した時がこれに当たります。

#### 【中干し】

目標とする茎数の80〜90%確保できた時点で田を乾かす作業です。期間は7日程度で主な効果は次の通りです。

- ①根腐れを防ぎ、根の活性を高める
- ②土中の有害ガス(硫化水素・メタンガスなど)の発生を抑える
- ③過剰な分けつを抑える
- ④田面を固めることで刈り取りなどの作業性を高める



▲強い中干し(大きなヒビ)



▲弱い中干し(小さなヒビ)

#### 【幼穂形成期】

一般的に出穂の24日前、幼穂が茎の基部に形成され始めた時期を言います。この時期の栄養状態で収穫量や品質が左右されるため、追肥と水管理において重要な時期になります。

#### 【出穂期】

水田の40〜50%の茎が出穂した時期を指します。出穂とは茎から穂が出た状態を言い、茎から籾が少しでも出ていれば出穂とされています。

本田防除は、出穂期より18日前から出穂前防除、出穂後5〜15日が出穂後防除の適期となります。

粒剤および豆つぶ剤は稲体に吸収させる期間が必要ですので、出穂前防除は粉剤や液剤と比較して5日程度早めに散布する必要があります。

#### 【落水期】

稲刈り前、準備のために水を抜く時期を言います。一般的に出穂後30日以降、稲刈りの10日前を目安にします。

籾は収穫まで充実しますので、収穫直前まで田に水分があるのが望ましいです。そのため田面を固め、作業性を向上させる「溝切り」や「中干し」は稲づくりに大変重要な作業です。

# 野菜

## 春まき野菜（ダイコン、ニンジン、カブなど）

早春の気象は、気温は低温から高温へ、日長は短日から長日に変化します。日照は急速に強くなりますが、気温は一年間で最も低い時期になります。

野菜の種まきは、南部域では3月中旬から、北部域では4月から可能となりますが、大抵のものが若い苗の段階で低温に遭遇すると抽苔（とう立ち）してしまうのでトンネルなどを利用すると安全です。

### ◆春まき栽培のポイント

#### ①品種の選択

いずれの野菜も、抽苔しにくい品種を選びましょう。

種の袋に品種の特性が記載されています。晩抽性で低温での伸長、肥大の良いものを選ぶようにしましょう。

#### ②生育初期の保温

種まきの時期は気温が低いので、

マルチで地温を高めておき、トンネルにより保温をします。3月は気温の割に日照が強いため、トンネル内は逆に高温になり過ぎることがあります。通気口のついた「コーラックかんき」などを使用すると失敗しにくいです。

#### ③梅雨までに収穫を終える

6月に入ると雨が多くなります。特にニンジンは、生育後期の過湿を嫌うので、早めに収穫を終えるようにしましょう。

また、気温が高くなると病害虫の発生が多くなるので注意しましょう。

### ◆春まきダイコン

ダイコンは食物繊維が多く、しかも消化を助ける「ジアスターゼ」を豊富に含むため常食したい野菜です。春のダイコンは、寒さがやわらぐ3月上旬から種まきができます。冬ダイコンと違い、収穫適期が遅れると抽苔するため収穫期は短いです。新鮮な春ダイコンはビタミンが豊富な葉まで楽しむことができます。是非取り組んでみてください。

### ◆圃場の準備

土壌条件は生育の良否に大きな影響を与えます。あらかじめ良質な堆肥を施し、できるだけ深く耕して圃場の準備をしておきましょう。

基準となる1a当たりの施肥量は完熟堆肥200kg、苦土石灰10kg、野菜用の元肥10kg、BMよりりん5kgとなります。

※「BMよりりん」にはアブラナ科植物に必須のホウ素が含まれるため、ダイコンばかりでなくブロッコリーやハクサイなどに使用できません。

### ◆播種から収穫までの管理

畝は120cm、株間25cmの2条植えを基本とします。マルチをする場合は早めに張って地温を高めておきましょう。

種まきは1カ所4〜5粒播きとし、本葉が展開し始めたころから徐々に間引き、本葉4〜5枚には間引きを完了するようにしましょう。

気温がまだ低いうちはビニールトンネルで被覆するか、寒冷紗などをベタがけにし、保温につとめます。病害虫の発生は少ないので5月ま

でに収穫するトンネル栽培の場合は無農薬栽培も可能です。

収穫は、青首ダイコンの場合は首の太さが8cm、重さ1kgぐらいが収穫適期です。とう立ちがすすむと芯が固くなるので若いうちから収穫し、葉も利用しましょう。



## 令和7年度からのふれあい活動について

広島中央地域では、毎月第2土曜日を「休日ふれあい活動日」として全職員が一斉訪問活動を実施してまいりましたが、令和6年4月1日に全地域統一の「JAひろしまふれあい活動要領」が制定されたことから、令和7年4月より訪問活動日を次の通り変更させていただきます。

### 〈変更後〉

毎月7日～14日を「ふれあい週間」と位置づけ、この期間内にふれあい活動を行います

なお、訪問活動の目的や内容についてはこれまでと変わらず、「全職員が組合員・利用者を訪問し、対話を通じて幅広い意見を収集してJAの事業や活動に反映させ、組合員・利用者目線の事業運営を図ることおよび、信頼関係を築くこと」とし、変更ございませんので何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

# 初春3年定期貯金

スーパー定期貯金<複利型>

取扱期間

令和7年1月6日(月)～令和7年3月31日(月)

3か月  
限定!

年0.60% (税引後年0.478%)

対象 個人の方

預入期間 3年(定型方式)※自動継続(元利金継続)

預入金額 30万円以上1円単位(新規資金のみ)

(新規資金とは他の金融機関等からの現金の持ち込み、または当JAの口座へ入金された日から1カ月以内の資金をいいます。)  
※すでに当組合へお預け入れいただいている定期貯金の増額書換は対象外です。

取扱期間 令和7年1月6日(月)～令和7年3月31日(月)

募集総額

200億円

※取扱期間中でも募集総額に達した場合は取り扱いを終了させていただきます。

詳しくは支店にお問合せください。令和7年1月6日(月)現在